

区立施設マネジメント計画に関する ワークショップ

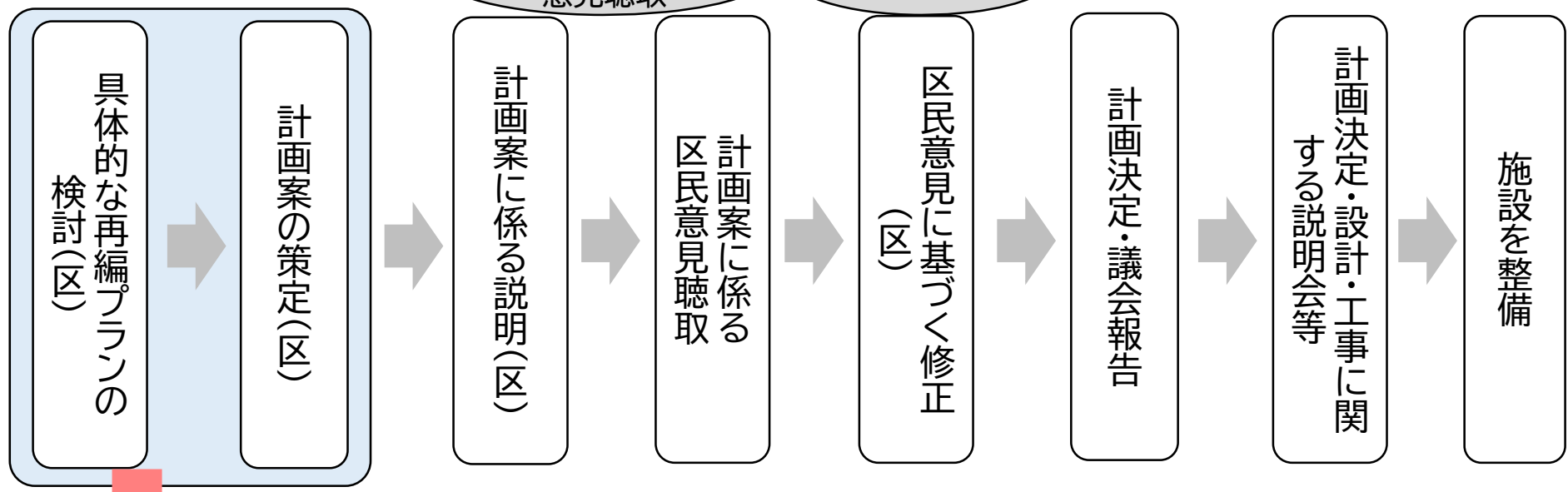
～浜田山駅周辺の老朽化した区立施設への対応等に関する検討(第1回)～

令和6年4月26日(金)
杉並区政策経営部企画課
施設マネジメント担当

区からのあいさつ

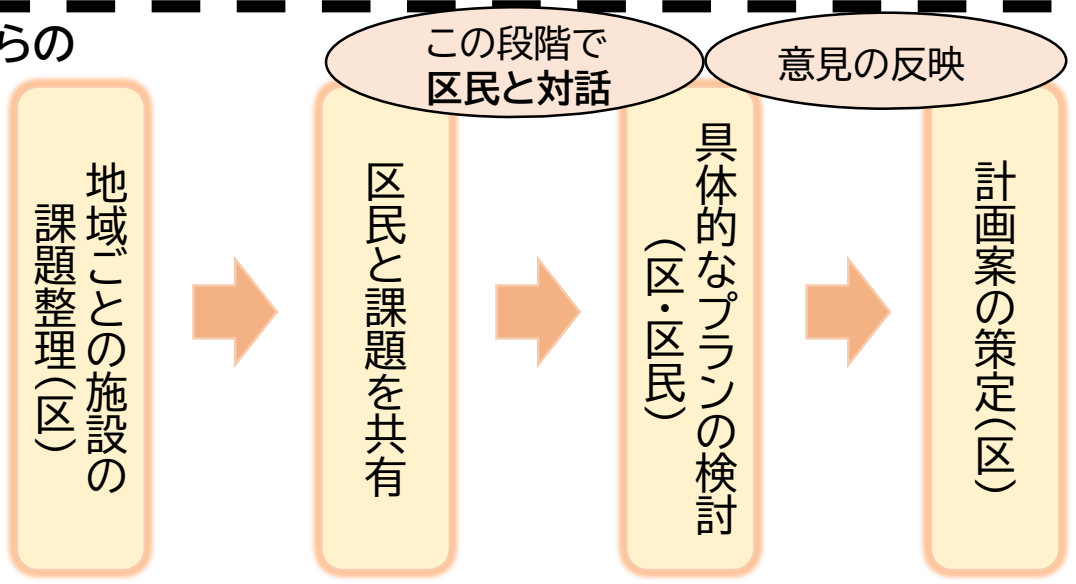
ワークショップの開催に至った経緯（計画策定プロセスの見直し）

【これまでの進め方】



【施設マネジメント計画に基づくこれからの進め方(イメージ)】

計画案の策定段階で、
地域の実情も踏まえながら
区民とともに
取組の方向性を検討



これまでの進め方

計画案の検討・策定

計画の方針に沿った画一的な流れで、「ゆうゆう館はコミュニティふらっとに機能継承する」など、区が検討・作成した具体的な計画案を提示してきました。

区民意見

計画の決定

計画案について、パブリックコメントや説明会などを行い、区民の皆さんからご意見を頂きましたが、計画の根幹を変更するような大きな修正を行うことは少ない状況でした。

地域住民の皆さんなどの声をより多く聴くために！

これからの進め方

New!



区と住民などとの対話

課題の共有

施設や地域などの現状・課題を施設利用者や地域住民の皆さんなどと共有した上で、複数のたたき台を示しながら、皆さんと共に考えていきます。

計画案の検討

ワークショップや地域意見交換会など、対話によりまとめ上げた計画案を示します。

区民意見



計画の決定

計画案に対するパブリックコメントや説明会などを行い、区民の皆さんからのご意見を踏まえ、必要に応じて取組を修正します。

ワークショップの目的

このワークショップでは、浜田山駅周辺の区立施設において、

高井戸東保育園・ゆうゆう高井戸東館の老朽化にどのように対応していくか？

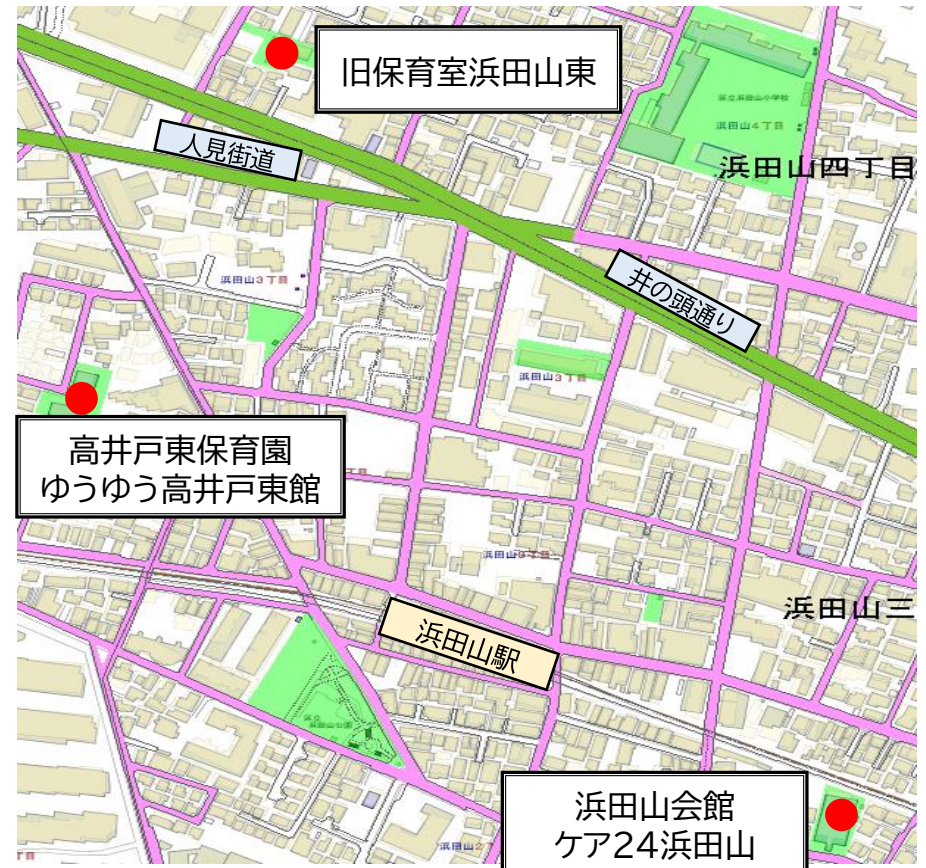
を、「浜田山会館・ケア24浜田山」や「旧保育室浜田山東」等の周辺施設の活用も視野に入れながら、様々な立場の皆さんと考えていきます。

【主な対象施設】

- 高井戸東保育園・ゆうゆう高井戸東館
- 浜田山会館・ケア24浜田山
- 旧保育室浜田山東

このワークショップには、普段から施設を利用している方、利用していない方、町会・自治会の方、施設に関係する団体の方など、**様々な立場の方が参加**しています。

ぜひ、皆様一人ひとりの意見や想いを発言していただき、意見交換を繰り返しながらより良い解決策を一緒に考えていきましょう！



ワークショップの参加に当たって

○多様な意見を楽しみ、受け入れましょう！
→色んな考え方があることを許容しましょう

○自由に、積極的に発言しましょう！
→批判、中傷はNGです

○疑問(モヤモヤ)を感じたらその場で解決！
→基本的なことでも気軽に聞いてみましょう

**意見を出しやすい雰囲気をみんなで作り、
楽しみましょう！**

本日(第1回)のプログラム

時間(予定)	内容
18:00~18:15	区からの挨拶等
18:15~18:25	グループ内での自己紹介
18:25~18:45	区からの説明① (ワークショップ全体の流れと施設マネジメントの必要性について)
18:45~19:25	グループワーク① (区からの説明①で気になった点等の解消タイム)
19:25~19:35	休憩
19:35~20:25	区からの説明②・全体質疑 (対象施設の概要等について)
20:25~20:55	グループワーク② (区からの説明②で気になった点等の解消タイム)
20:55~21:00	事務連絡

※会の進捗に応じて、時間が変更になる場合がございます。

自己紹介（交流タイム）



- ①お名前
 - ②お住まい(浜田山〇丁目に住んでいます など)
 - ③このワークショップに参加した理由など
 - ④「よろしくお願ひします！」
- …を順番に共有(1人、1分程度)



- 一人終わるごとにプチ拍手
- 時間を意識・早く終わったら交流タイム

ゴール:時間内(10分)に全員が自己紹介し終えている

区からの説明①

- ワークショップの全体の流れ
- 本日のテーマとゴール
- 施設マネジメントの必要性について

ワークショップの全体の流れ

取組案を考えていく上でのポイント

- 高井戸東保育園・ゆうゆう高井戸東館の老朽化が進んでおり、速やかな建て替えが必要。
- 高井戸東保育園を現在と同じ場所で建て替える場合、必要諸室の規模が大きくなるため、ゆうゆう高井戸東館を現在の規模で併設することは難しい。
- 高井戸東保育園を建て替える場合の仮設用地や高齢者の活動場所を適切に確保する観点から、浜田山会館・ケア24浜田山や旧保育室浜田山東の活用も含めた検討が必要。

限りある資源の中で、効率的に施設の更新を行っていく必要があります。



※建替時に生じる課題等については、改めて情報提供させていただきます。

ワークショップ全体のスケジュール・テーマ等

	回	日程	テーマ(予定)
情報共有 土台作り	第1回	4月26日(金)	ワークショップの目的、施設マネジメントの内容、対象施設について知ろう！
	第2回	5月24日(金)	対象施設を取り巻く状況や建替時に生じる課題について考えよう！
具体的な取組案 (プラン)の検討	第3回	6月24日(月)	第1回～第2回で出た意見を踏まえて区が作成したたたき台(複数プラン)を比較・検討し、各プランのメリット・デメリット等を整理しよう！
	第4回	7月16日(火)	第3回で出た意見を踏まえて区が改善もしくは新たに作成したたたき台(複数プラン)を比較・検討し、各プランのメリット・デメリット等を整理しよう！
	第5回	9月6日(金)	第4回までの意見や地域意見交換会等の意見を踏まえて区が改善もしくは新たに作成したたたき台(複数プラン)を比較・検討し、各プランのメリット・デメリット等を整理しよう！

※進捗に応じて回数や内容が変更になる場合があります。

○ワークショップ参加者以外の方の意見を聞いていくため、第4回と第5回の間(7月中旬～8月中旬)に、対象施設の周辺住民等を対象とした意見聴取(ポスティング)を実施するとともに、地域意見交換会を開催します。

○ワークショップや地域意見交換会、ポスティングによる意見聴取等でいただいた意見を踏まえ、最終的に区が計画(案)に記載する取組案を決定します。

ワークショップ終了後の取組の流れ

ワークショップ等(令和6年4月～9月)



取組案を施設マネジメント計画の一部修正(案)に記載(11月を予定)



計画(案)の内容について
パブリックコメントを実施(12月を予定)



計画決定(令和7年1月を予定)



計画に基づく取組の実施(令和7年度)

本日のテーマとゴール

- (テーマ)** ワークショップの目的・施設マネジメント・対象施設を知る！
- (ゴール)** ワークショップの目的や施設マネジメントの内容、対象施設の概要を知ることができた！

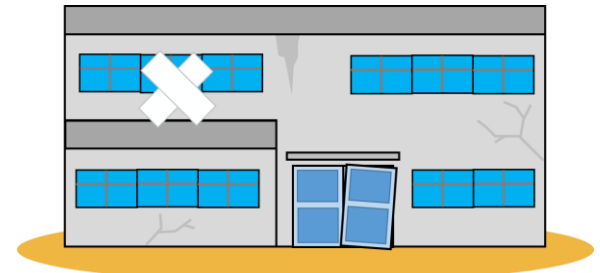


施設マネジメントの必要性について

区立施設の抱える課題

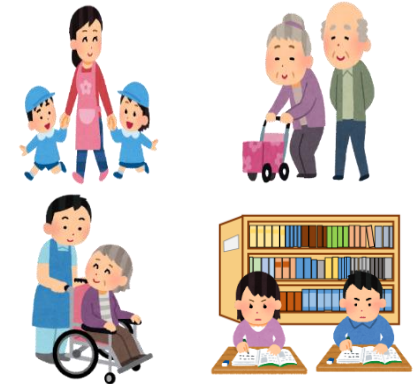
①施設の老朽化

老朽化した建物が数多くあり、次々と更新時期を迎えます。



②区民ニーズの変化への対応

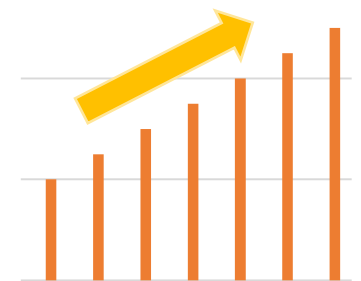
時代の変化によりライフスタイルが変わり、施設に対するニーズも変わっています。



③限られた財源の中での施設整備

将来的な人口減少による税収減、社会保障関連経費の増加などが見込まれ、施設に使える予算を現在と同様の水準で確保することが難しくなります。

社会保障関連経費

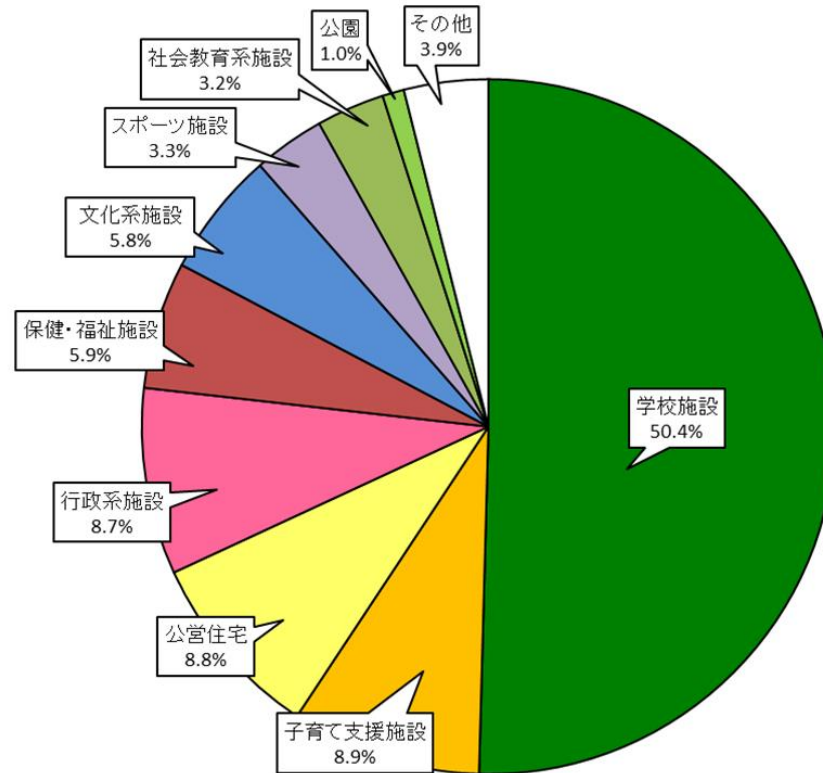


区立施設の数及び保有量

○区立施設の数

(1) 小学校、中学校、特別支援学校		(8) 図書館	
小学校	40	図書館	13
中学校	23	図書サービスコーナー等	5
特別支援学校	1	(9) 生涯学習施設	
適応指導教室	4	社会教育センター	1
(2) 児童館、学童クラブ、子ども・子育てプラザ		郷土博物館	2
児童青少年センター	1	その他生涯学習施設	2
児童館	27	(10) 体育施設	
学童クラブ（児童館等併設）	24	体育館	6
学童クラブ（小学校内・単独設置等）	29	運動場	10
子ども・子育てプラザ	6	プール	5
(3) 保育園、子供園		(11) 障害者（児）施設	
保育園	32	障害者（児）通所施設等	5
子供園	6	障害者福祉会館等	4
その他保育施設（保育室等）	7	その他障害者施設	8
民営施設（区有施設活用）	19	(12) 公営住宅	
(4) 地域区民センター、区民集会所、コミュニティふらっと等		区営住宅（※）	33
地域区民センター	7	高齢者住宅（※）	14
区民集会所	10	(13) 庁舎、その他施設	
区民会館	3	庁舎系施設	49
コミュニティふらっと	5	その他施設（災害備蓄倉庫、公衆便所、旧施設等）	86
区民事務所会議室	3	(14) 有料制自転車駐車場、自転車集積所	
(5) その他集会施設		有料制自転車駐車場	44
杉並会館	1	民営自転車駐車場（区有施設活用）	1
勤労福祉会館	1	自転車集積所	4
産業商工会館	1	(15) 公園	
その他文化施設等（杉並公会堂、杉並芸術会館等）	4	公園管理事務所等	12
(6) ゆうゆう館		(16) 民営化宿泊施設	
高齢者活動支援センター	1	民営化宿泊施設	2
ゆうゆう館	28	※区営住宅及び高齢者住宅は、1団地を1施設として計上	
(7) その他高齢者施設		※施設数は、令和5年(2023年)4月1日現在	
特別養護老人ホーム	1	合計：610 施設	
ケアハウス	2		
認知症高齢者グループホーム	2		
小規模多機能型居宅介護事業所	1		
その他高齢者施設（ケア24、ふれあいの家等）	15		

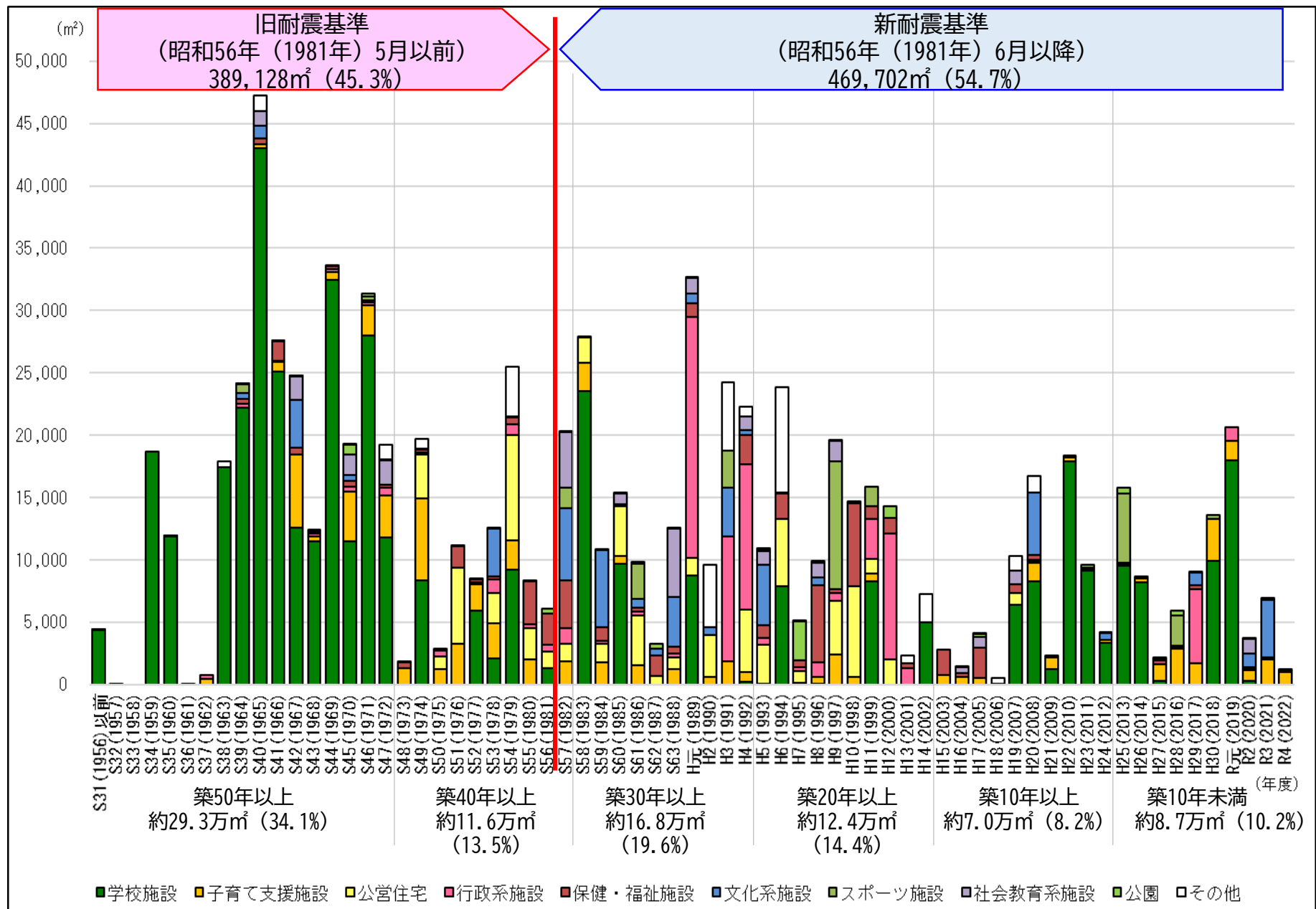
施設用途ごとの延べ床面積



用途の分類	延床面積	構成比	用途の分類	延床面積	構成比
学校施設 (小学校、中学校等)	433,139 m ²	50.4%	文化系施設 (地域区民センター、杉並芸術会館等)	50,140 m ²	5.8%
子育て支援施設 (保育園、子供園、児童館等)	76,338 m ²	8.9%	スポーツ施設 (体育館・プール等)	28,633 m ²	3.3%
公営住宅 (区営住宅、高齢者住宅等)	75,464 m ²	8.8%	社会教育系施設 (図書館等)	27,317 m ²	3.2%
行政系施設 (庁舎、区民事務所等)	74,548 m ²	8.7%	公園 (公園管理事務所、公園便所等)	8,662 m ²	1.0%
保健・福祉施設 (保健センター、ゆうゆう館、障害者(児)通所施設等)	50,813 m ²	5.9%	その他 (有料制自転車駐車場、公衆便所等)	33,776 m ²	3.9%

合計 858,830 m² 100.0%

区立施設の建築年度



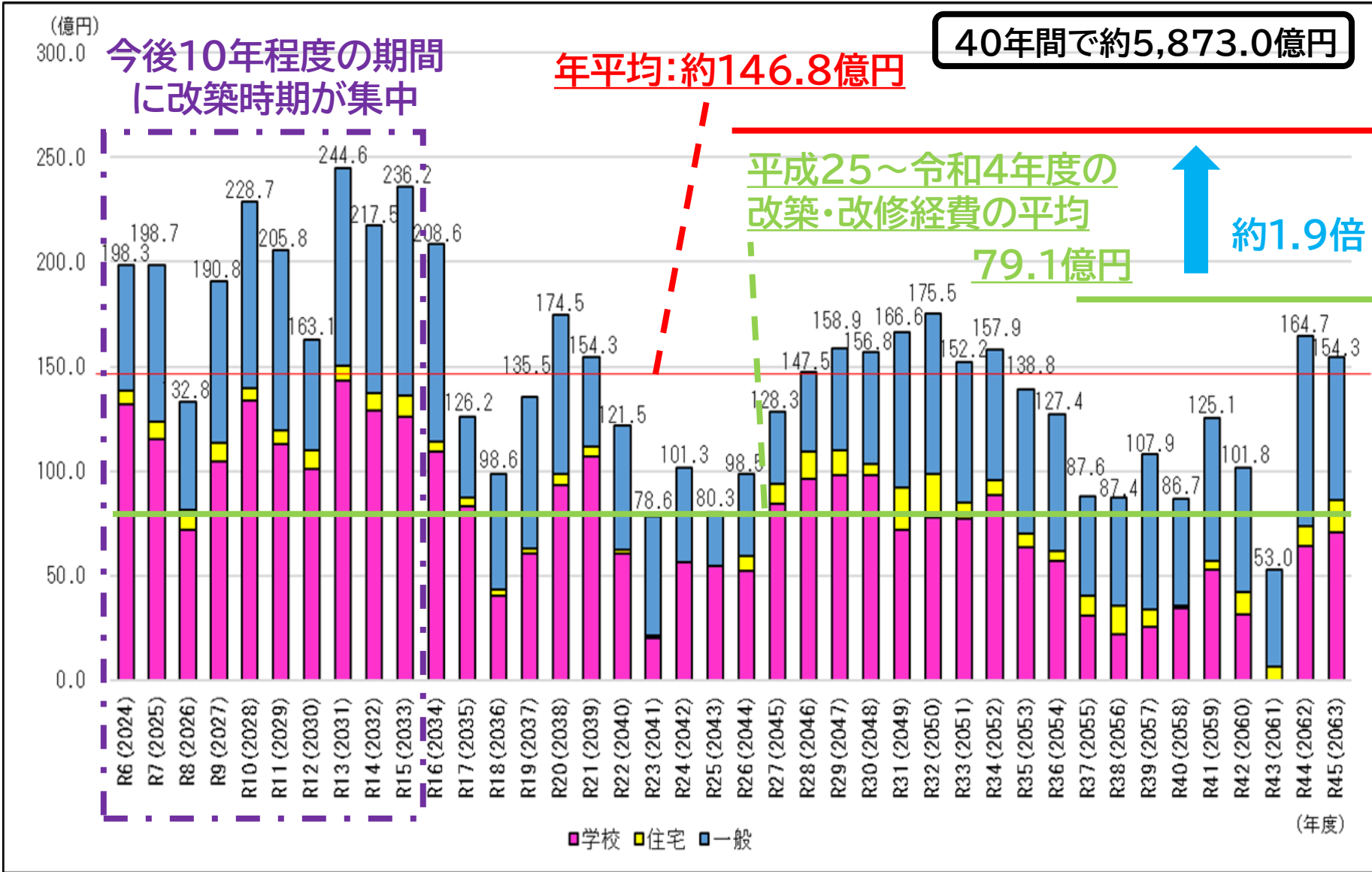
※グラフは令和4年度(2022年度)固定資産台帳のデータを基に作成

区立施設の老朽化

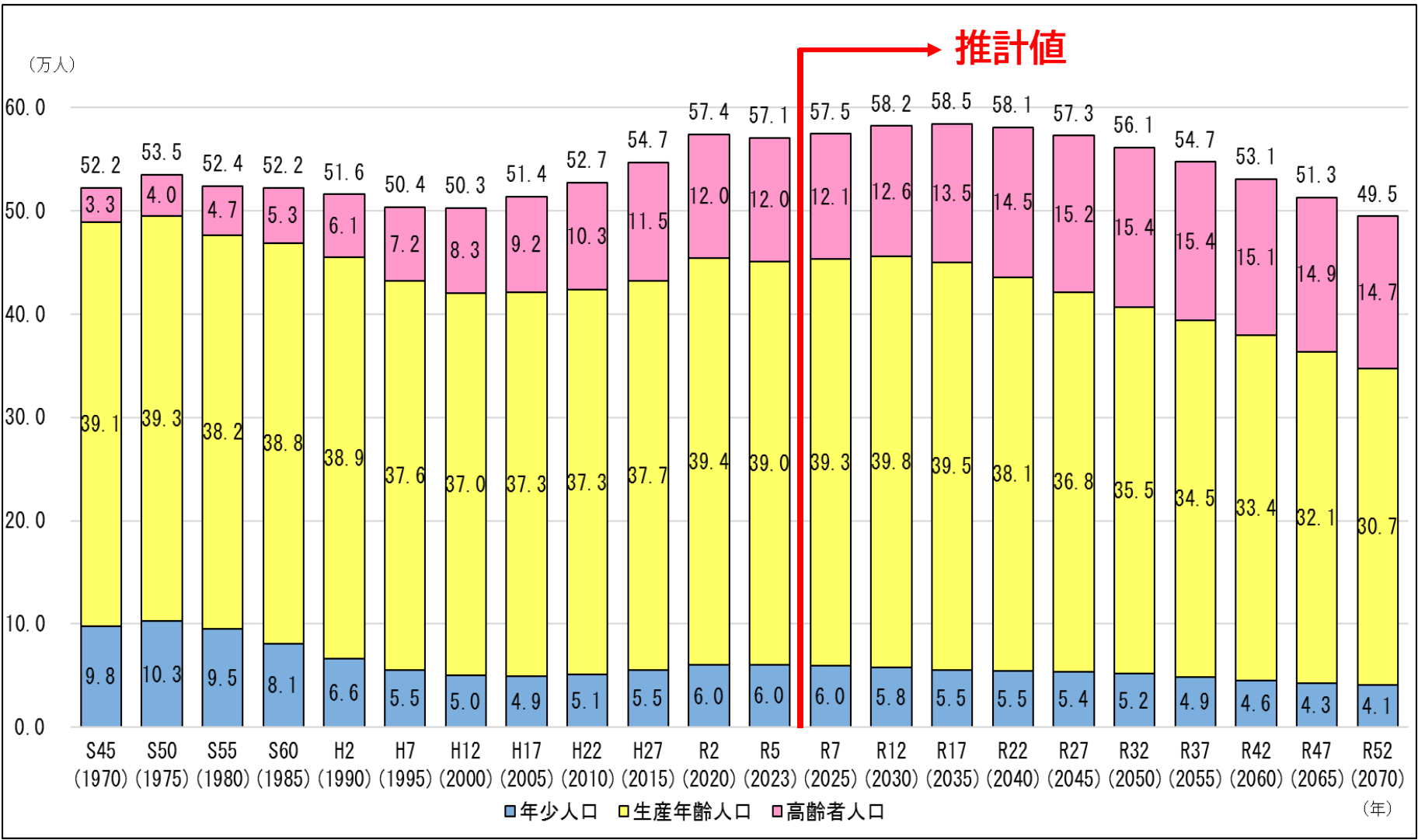
- ・昭和30～40年代に建築された施設が多くあり、築50年以上の建物が全体の**約3割**を超え、築30年以上の建物は**約7割**となっており、区立施設全体の老朽化が進んでいます。
- ・築年数に応じた施設規模の分布を見ると、区立施設は今後まさに**改築時期のピーク**を迎えます。

どのように区立施設を更新するのか、
計画を立てて考えていく必要があります。

今後の改築・改修経費の試算



人口の推移及び今後の推計(人口数)

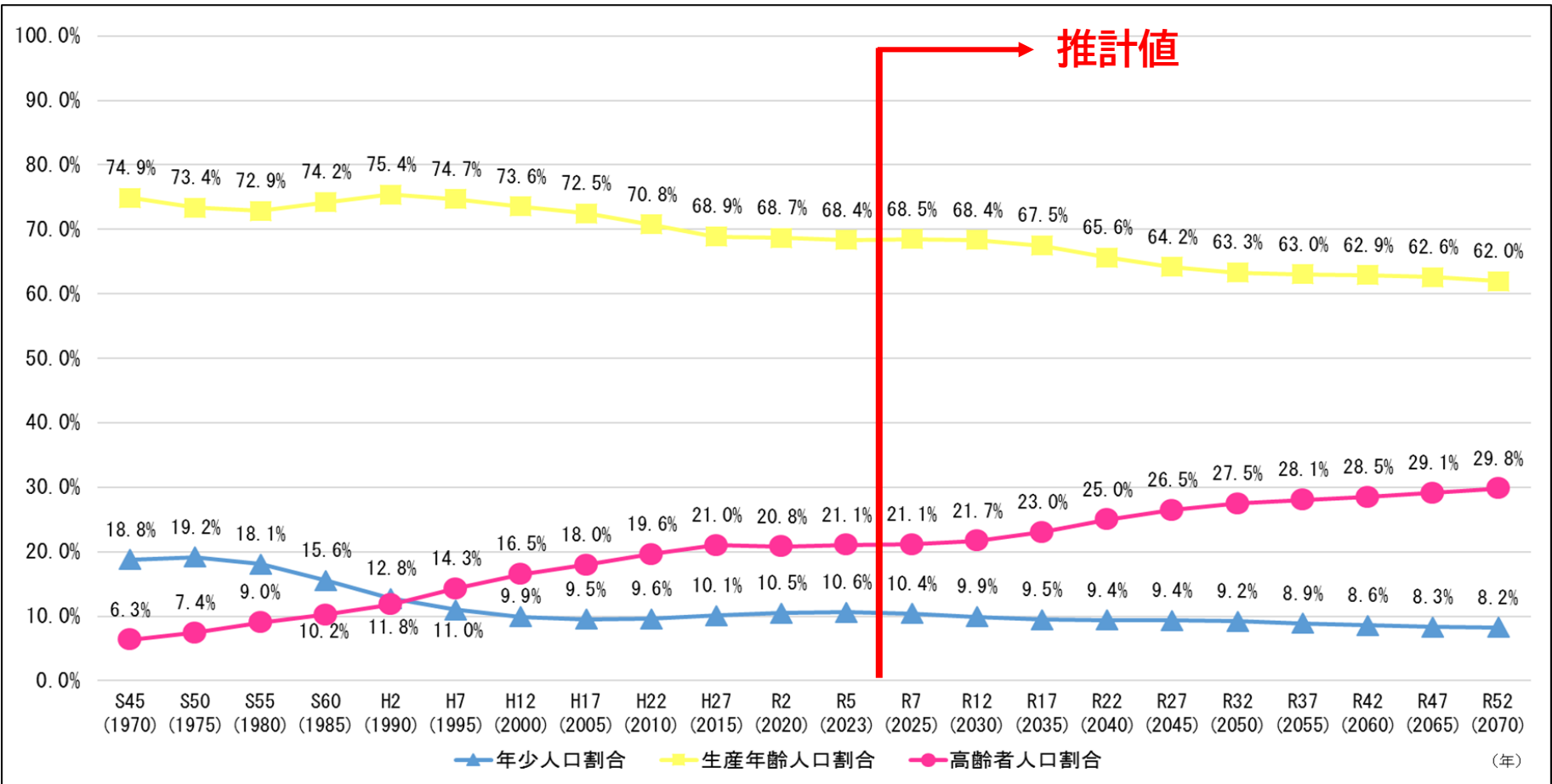


※年少人口:15歳未満、生産年齢人口:15歳以上65歳未満、高齢者人口:65歳以上

※令和2年(2020年)以前については、杉並区統計書を、令和5年(2023年)以降については、令和5年度(2023年度)に区が実施した人口推計のデータをそれぞれ引用し作成。

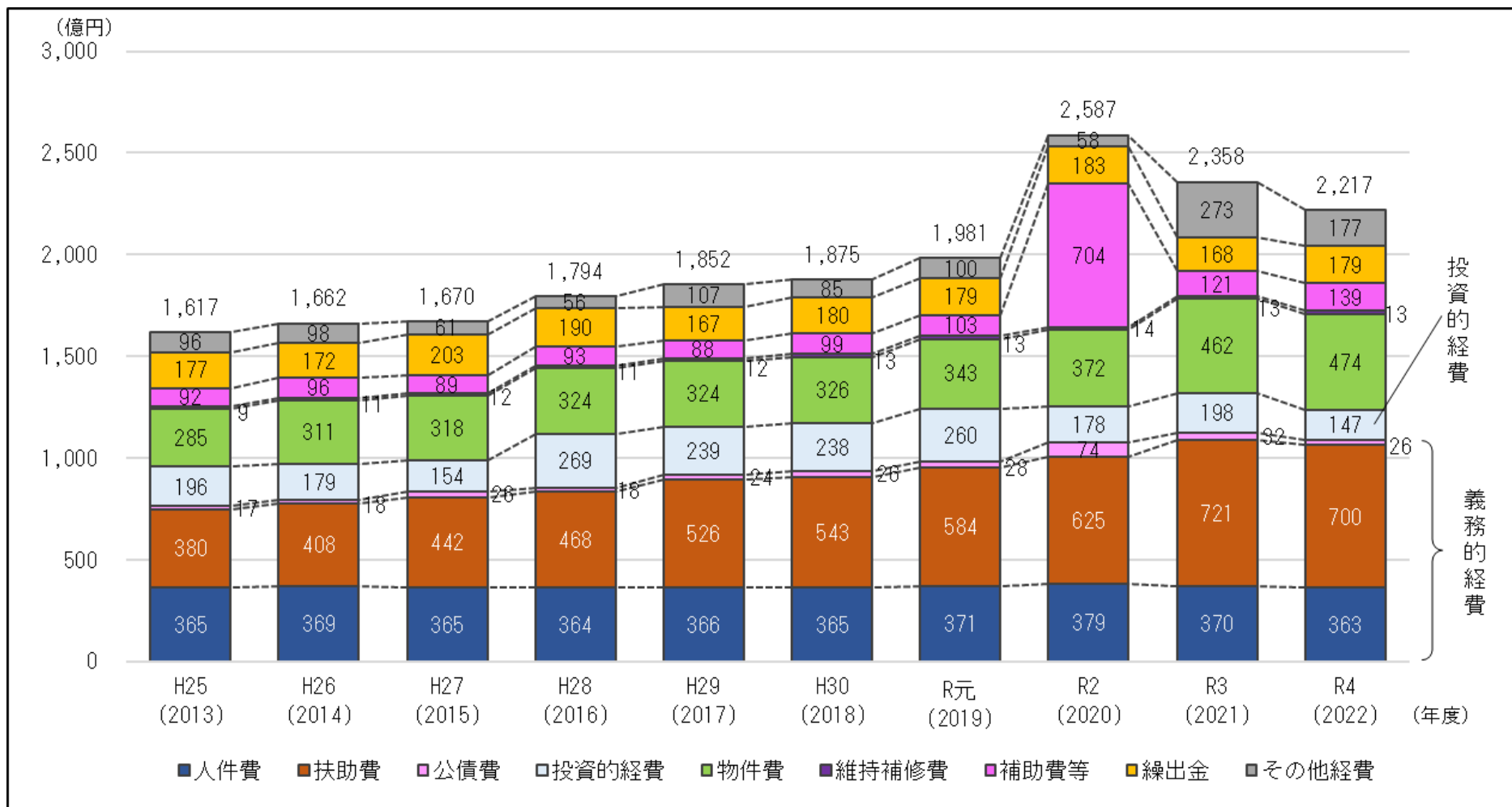
※平成22年(2010年)以前のデータには、外国人を含まない。

人口の推移及び今後の推計(構成割合)



	総人口	高齢者人口	生産年齢人口	年少人口
令和5年	約57.1万人	約12.0万人(約21.1%)	約39.0万人(約68.4%)	約6.0万人(約10.6%)
令和52年	約49.5万人	約14.7万人(約29.8%)	約30.7万人(約62.0%)	約4.1万人(約8.2%)
増減	約7.6万人減 (約86.7%)	約2.7万人増(約122.5%) 約8.7ポイント増	約8.3万人減(約78.7%) 約6.4ポイント減	約1.9万人減(約68.3%) 約2.4ポイント減

歳出決算額の推移(普通会計)

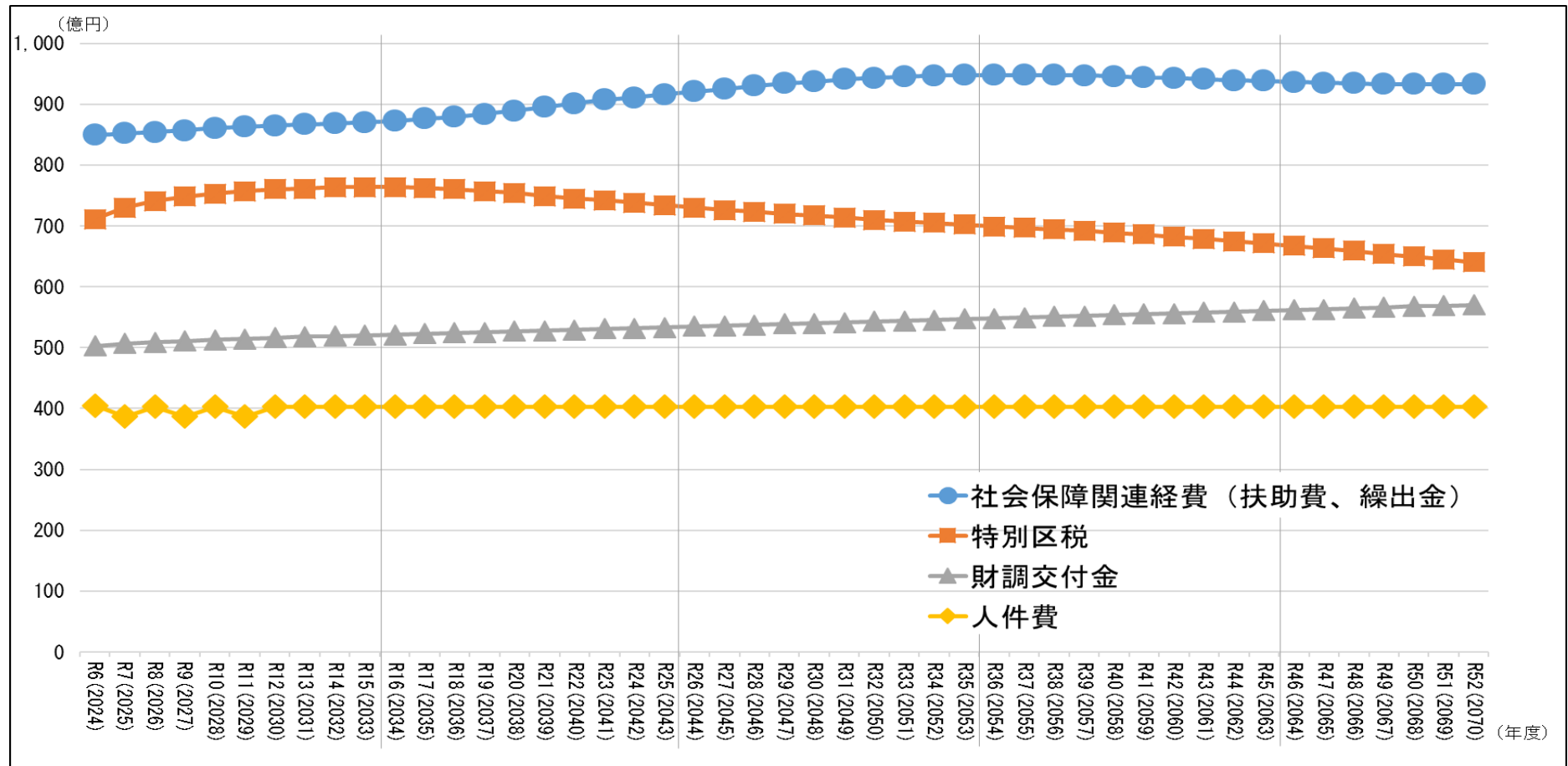


○区の歳出については増加傾向にある。

○特に、社会保障関連経費である扶助費は、この10年間で、約380億円から約700億円(約1.8倍)に増加している。

○公共施設の建築や用地購入などの経費が含まれる投資的経費については、この10年間の間に、約147億円から約269億円の幅で推移している。

財政収支の傾向分析(推計)



	社会保障関連経費	特別区税 (区税収入)
令和6年度	約849億円	約711億円
令和52年度	約933億円	約640億円
増減	約84億円増 (約109.9%)	約71億円減 (約90.0%) 約8.7ポイント減

※人件費については、定年退職制度の期間延長に伴い退職手当の支出が生じなくなる年度があるほか、金額の変動等については考慮していない。

※財調交付金の増加を見込んだ場合においても、将来的な社会保障関連経費の増加や、税収の減少を踏まえると、将来の財政状況は現在よりも厳しくなることが見込まれる。

限られた財源の中での施設整備

人口減少・少子化
生産年齢人口
の減少

↓

区の税収が減る

社会保障関連経費
福祉や医療にかかる
お金が増えている

↓

出るお金が増える

改築・改修経費
老朽化の進行
改築・改修時期の集中

↓

施設の更新経費が
増加

どのくらい減るのか
予測が難しい(不安定)

令和6年度
(2024年度)
特別区税額
(推計) → 約711億円

令和52年度
(2070年度)
特別区税額
(推計) → 約640億円

義務的経費は
増え続けている

令和4年度
(2022年度)
扶助費 → 約700億円

↑ 約1.8倍 ↓

平成25年度
(2013年度)
扶助費 → 約380億円

40年間で
約5,873億円

今後40年間
の年平均
(試算) → 約146.8
億円

↑ 約1.9倍 ↓

平成25年度
(2013年度)
～令和4年度
(2022年度)
の年平均 → 79.1億円

進めなければならない施設の更新

施設の老朽化



改築・改修時期の到来



財源が不足する可能性(不安定)



計画的な施設の更新・整備が必要



施設マネジメントの推進

皆さんと共有したい視点

- 公共施設は**区民共有の財産**であることから、**地域全体・区全体を俯瞰**して今後のあり方を考える必要があります。
- 新たに施設を整備する場合は、**現在の区民だけでなく、将来世代の区民も利用するもの**であることから、現世代はもちろんのこと、将来世代のニーズや財政上の負担等も考慮する必要があります。
- 将来的な財政状況を踏まえると、不安定な部分も多く、厳しい状況が続くことも想定されることから、**限られた資源・財源を最大限に有効活用**していく視点が欠かせません。



“全体最適・長期最適”

の視点を持ちながら、解決策を一緒に検討していきましょう。

施設利用者や地域住民等の視点

取組案を検討する上で、考えるべきことの例

施設をどのように整備していくのか	まちづくりや地域づくり、 地域における福祉やコミュニティづくり
<ul style="list-style-type: none">• 施設の老朽化の状況• 施設長寿命化の可能性（改築の適否）• 施設の利用状況• 併設施設の状況• 周辺施設の状況• 施設の持つ機能の必要性や将来的なサービス需要• 民間サービスの活用の余地• 改築時の仮設建物整備• 用途地域や用地の建ぺい率・容積率等の制約• 複合化・多機能化の可能性 など	<ul style="list-style-type: none">• まちの魅力向上• 地域の課題解決• 少子高齢化が進展し高齢者数が増加していく状況における高齢者の居場所の確保• 多世代が地域におけるつながり作りや活動を行うための場や機会の確保・充実• すべての子どもの成長段階に応じた多様な居場所の確保 など

全体最適・長期最適の視点【前提】

※「区立施設マネジメント計画(P14)」より抜粋

グループワーク①

これまでの区の説明で気になった点等を
グループ内で意見交換しましょう！

休 憩

区からの説明②

対象施設について

区立保育園

【保育園の役割】

保護者の就労等により、ご家庭で必要な保育を受けることが困難な児童を保育する児童福祉施設です。

【区立保育園の数】（令和6年(2024年)4月時点）

区内全体で保育施設は192園あり、その内、区立保育園は27園(14%)あります。

【区立保育園が担っている役割】

○中核園(区立保育園10園を指定)

地域において、保育施設間の連携・情報共有等の促進や保育内容の向上に向けた取り組みの企画等の役割を担っています。

(例)地域懇談会の開催、職員の専門性向上のための研修の実施、子どもの交流の促進

○中核園以外の区立保育園(17園)

経験豊富な職員の知識や充実した保育環境、地域の情報を活用し、保育内容の向上に向け、中核園の取組を補佐しています。

(例)園内研修の実施、園庭開放による遊ぶ機会の提供

○障害児指定園(区立保育園15園を指定)

障害児保育の受入枠を独自に設けるとともに、受入れに必要な設備や人員配置を行っています。

これまでの経過及び今後の保育施設の整備方針等

平成30年度 (2018年度) まで	待機児童対策のための施設整備を推進 (平成30年度(2018年度)～現在まで、待機児童ゼロを達成)
平成30年度 (2018年度) ～現在	待機児童対策として整備を進めた保育室・定期利用保育施設は、待機児童ゼロに影響を及ぼさない範囲で廃止 その他の認可外保育所については認可保育所への移行を推進

今後の保育施設の整備方針

私立:基本的に数値目標を定めた新規整備は行わない。

区立:当面の間、現行の認可保育所数を維持しつつ、役割の変化(下記)に対応していく。

区立保育園の役割の変化

【障害児保育の拡大】

障害児保育の需要は過去5年間、右肩上がりでも増加が見込まれている。
(令和2年(2020年):128人 → 令和6年(2024年)4月:175人)

障害児保育に要する保育面積・人員・設備を常態的に確保する必要があることから、私立園での対応が難しいケースもあり、区立園で積極的に受け入れていく必要がある。

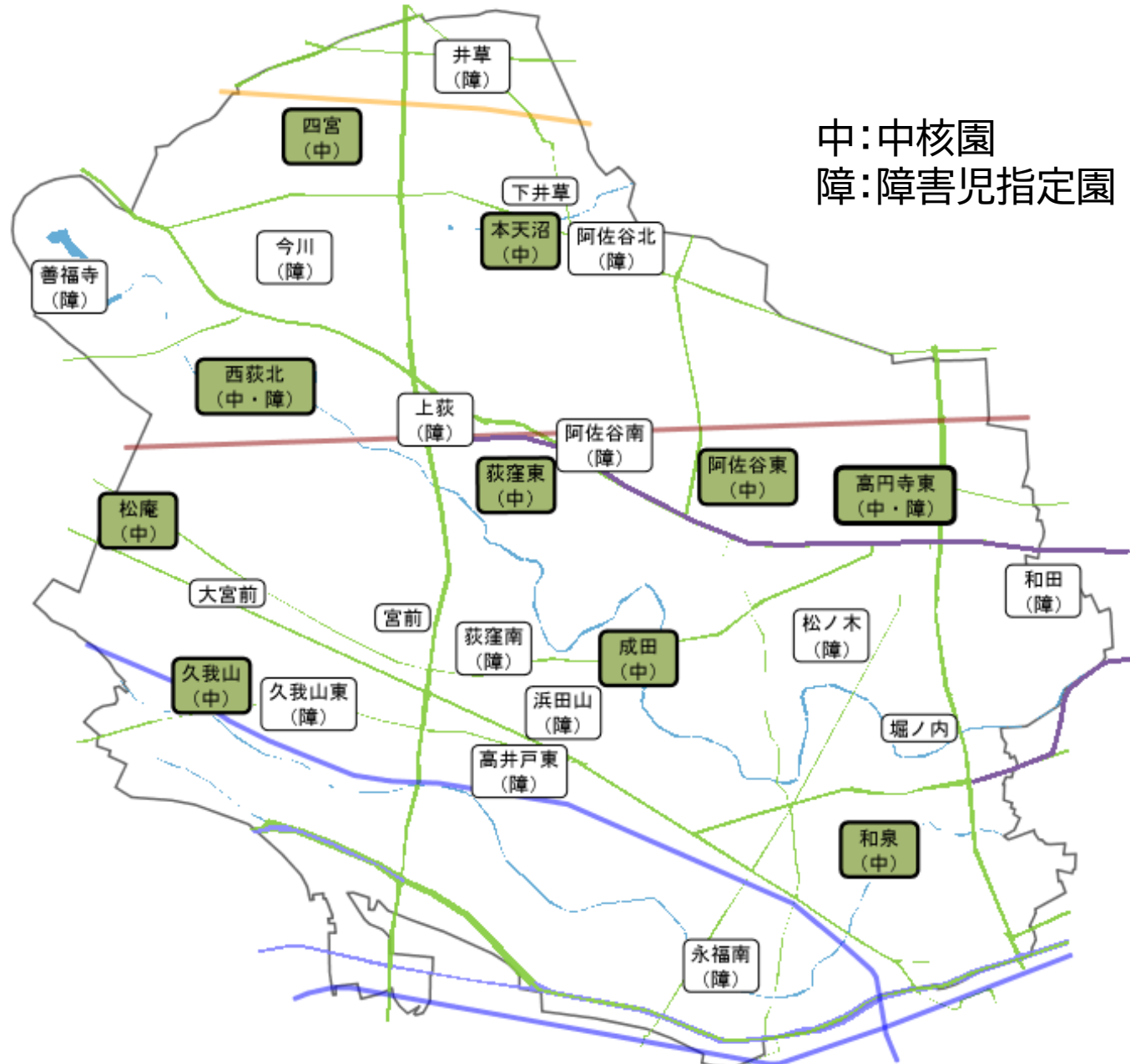
【福祉的支援を要する児童の受け入れ】

家庭環境に課題がある児童など、福祉的支援を要する児童を受け入れていく。

【セーフティネットとしての役割】

少子化の進展により一部の私立保育園において事業継続が困難な状況が生じる恐れがあることから、児童の受け入れ先の確保など、保育の継続性を担保するためのセーフティネットとしての役割を担う。

区立保育園(全体配置図)



中:中核園
障:障害児指定園

高井戸東保育園の概要①

【施設の情報】

築年数 : 51年

敷地面積: 1215.52㎡

延床面積: 650.46㎡

園庭面積: 370.70㎡

【定員数、在籍児童数】

定員数 : 95人

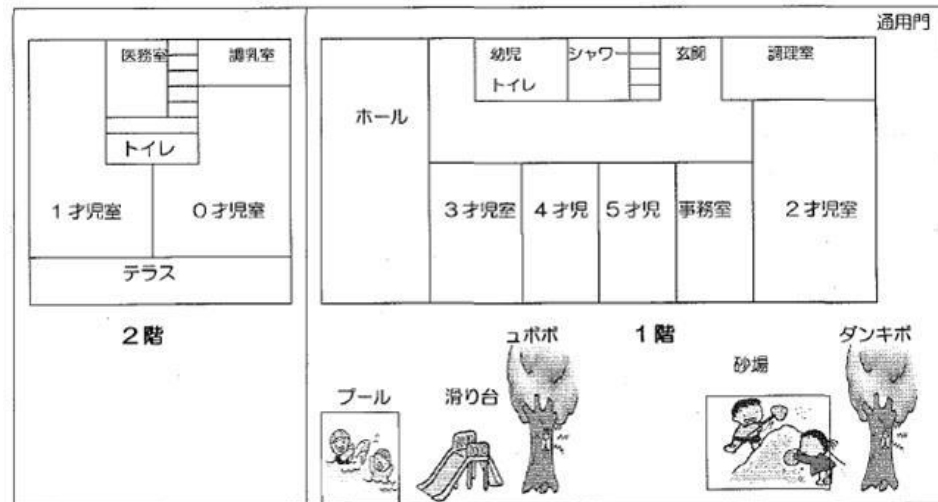
在籍児童数: 90人

※令和6年(2024年)4月時点
在籍児童数は3・4月が少なく、
12・1月に多くなる傾向にあります。

【高井戸東保育園の特色】

- 閑静な住宅街の中にあり、近隣には畑や公園など季節を実感できる環境にあります。
- 障害児指定園として障害児保育に必要な設備の整備や人員配置を行っています。

【平面図】



高井戸東保育園の概要②

【5歳児室】



【遊戯室】



【園庭】



ゆうゆう館とは①

○利用対象者:杉並区にお住まいの**60歳以上**の方々

○施設数:**27施設**(令和6年(2024年)4月1日時点)

※昭和38年(1963年)に上荻窪敬老会館を開設して以降、各地域に3~6か所(合計32館)の敬老会館(現ゆうゆう館)を設置してきました。

現在は、32館のうち、5館をコミュニティふらっとに機能継承しています。

○開館時間:午前9時~午後9時、(日曜日・祝日)午前9時~午後5時、(第3木曜日)午後1時~午後9時

○利用方法

①個人利用:一般和室または談話室・談話コーナーで、テレビ、囲碁、将棋などを自由に利用可能です。お一人でもご利用になれます。

②団体利用:趣味やいきがづくりなどの活動(※)に、洋室、和室、茶室、講座室、多目的室、ホールなどを利用できます。 ※コーラス、カラオケ、体操、書道、囲碁、輪投げなど

③目的外使用:空いている部屋がある場合は、一般の方も使用できます(要事前予約/有料)。

○実施事業(協働事業)

各ゆうゆう館の施設運営業務を担うNPO法人などの団体が、「いきがい学び」、「ふれあい交流」、「健康づくり」などに関する講座・催しを実施しています。

事業により参加費がかかります。

一部を除き、高齢者に限らず参加できるので、多世代で楽しむことができます。

協働事業例:スマホ講座、囲碁、卓球、ヨガ、コーラスなど



ゆうゆう館とは②

○施設の特徴

- ・築40年以上の施設が16館あり、施設の老朽化が進んでいます。
- ・他施設(特に保育園)との併設が多くみられます(保育園との併設:12館)。

○利用人数の推移等(ゆうゆう館全体) ※協働事業参加者等を含む (利用人数)

令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
394,142人	184,956人	242,131人	263,188人	276,156人

(年齢別利用者割合(令和5年(2023年)度) ※ゆうゆう今川館を除く、協働事業参加者等を含む)

60歳未満	60代	70代	80代	90歳以上
3.9%	7.8%	40.8%	41.9%	5.6%

○高齢者の区立施設の利用に関するアンケート(令和5年(2023年)6月実施)

(対象)無作為抽出した60歳以上の区民1,400人

(回答)462人/1,400人(回答率:33%)

(設問)趣味や学習、運動等の活動をどこの区立施設で行っているか。

ゆうゆう館	区民集会所、区民会館	コミュニティふらっと	その他区立施設	区立施設を利用していない
16.5%	10.0%	3.1%	20.2%	50.1%

○ゆうゆう館の抱えている課題

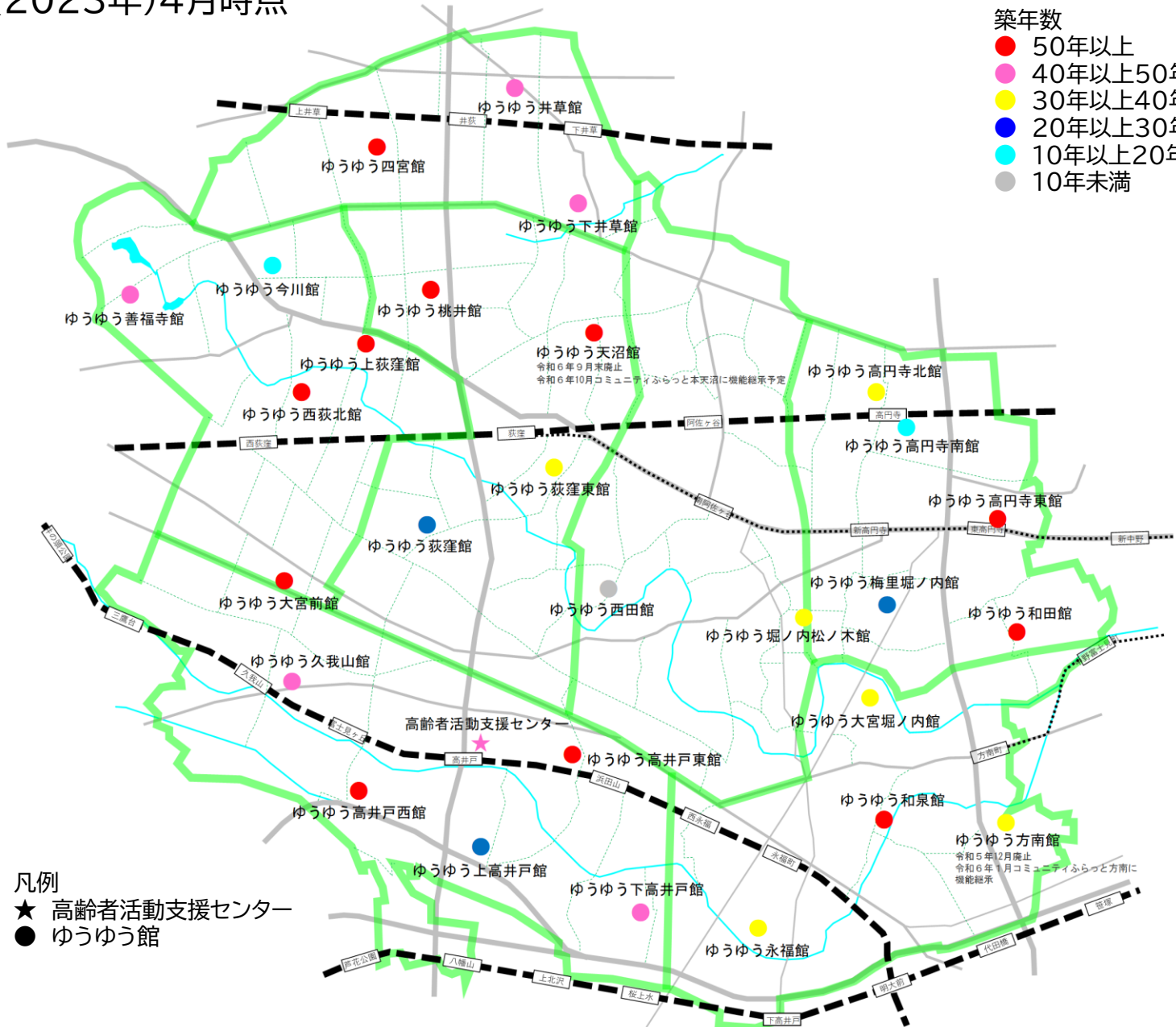
- ・夜間の利用率が低い施設がある など

※利用率の向上に向けて、一般利用がしやすいようにさざんかねっとで施設予約ができるようにする予定

ゆうゆう館(全体配置図)

令和5年(2023年)4月時点

- 築年数
- 50年以上
 - 40年以上50年未満
 - 30年以上40年未満
 - 20年以上30年未満
 - 10年以上20年未満
 - 10年未満



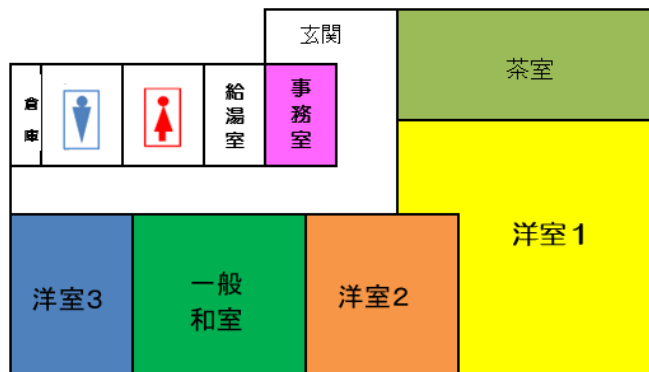
- 凡例
- ★ 高年齢者活動支援センター
 - ゆうゆう館

ゆうゆう高井戸東館の概要①

○築年数、延床面積、部屋数 など

築年数	延床面積	洋室1	洋室2	洋室3	構造
51年	212.04㎡	57.4㎡	31.1㎡	18.9㎡	鉄筋コンクリート造 エレベーター未設置

○平面図



○洋室1



○洋室3



○洋室2



ゆうゆう高井戸東館の概要②

○活動団体数:46団体(令和6年度(2024年度)上半期)
 団体人数:483人(令和6年度(2024年度)上半期)

○利用者の傾向

- ・70代、80代の利用者が多い(令和5年度(2023年度))
- ・団体利用の登録者は周辺住民(※)が約44%となっている。
 ※施設から半径500m圏内の丁目にお住いの方

60代	70代	80代	90歳以上
8.2%	45.7%	41.3%	4.0%

※小数点第3位四捨五入

○稼働率(茶室等を除く) (令和元年度(2019年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室1	48%	87%	89%	26%
洋室2		53%	70%	5%
洋室3		21%	54%	7%

(参考)
 ゆうゆう館全体稼働率
 ⇒約58%(高齢者活動支援センターは含まず)

(令和4年度(2022年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~17時	18~21時
洋室1	50%	92%	91%	16%
洋室2		56%	73%	8%
洋室3		18%	77%	0%

(参考)
 ゆうゆう館全体稼働率
 ⇒約50%(高齢者活動支援センターは含まず)

○利用人数の推移(ゆうゆう高井戸東館) ※協働事業参加者等を含む

令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
10,579人	6,416人	8,502人	10,927人	10,967人

全体質疑

集会施設とは

『良好なコミュニティの形成のための場』

予約なしで誰でも使える談話コーナー・ラウンジは、近所の方とのちょっとした歓談などでも利用できるほか、予約が必要な貸室では、地域の会合や趣味のグループ活動が行われるなど、幅広い世代の方が様々な形で利用しています。

施設名	地域区民センター	区民集会所	区民会館	コミュニティふらっと
設置目的	区民相互の交流及び活動の拡大を図ることにより、コミュニティの形成に資するため	区民の福祉の増進及び文化の向上に寄与するため	子どもから高齢者まで全ての世代に交流及び活動の場を提供するとともに、多世代の交流につながる事業を実施することにより、身近な地域におけるコミュニティの形成に資するため	
施設数	7	8	3	6
施設の特徴	区内7地域に1か所ずつ、コミュニティ形成のための拠点施設として設置 料理室、音楽室、工芸室などがあり、様々な用途で利用できる	集会室を中心とした地域区民センターより小規模な集会施設	集会室のほか、舞台のあるホールを備え、演奏会などでの利用も可能	集会室のほか、音楽・体育使用でも利用可能な多目的室を備え、身近な地域における交流・つながりが生まれる場となるよう、地域の発表会やお祭りなどのイベントのほか、様々な講座等を開催 (例) ・年に2回の多世代交流イベント (昔の遊び体験、コンサート、バザー等) ・事業者の自主運営事業 (ヨガ教室、ダーツ講座、英会話等)
面積 (平均規模)	3,961㎡	408㎡	890㎡	624㎡

浜田山会館について

○区内に3か所ある区民会館のうちの一つです。ホール、集会室、水屋併設の和室を備えています。

○会議等の集会使用のほか、書道、健康体操等の趣味活動、ホールにおけるコンサートなどの活動がなされています。



〈施設概要〉

所在地:浜田山1-36-3

建築年度:平成5年度(1993年度)

敷地面積:1,238.32㎡

延床面積:989.78㎡

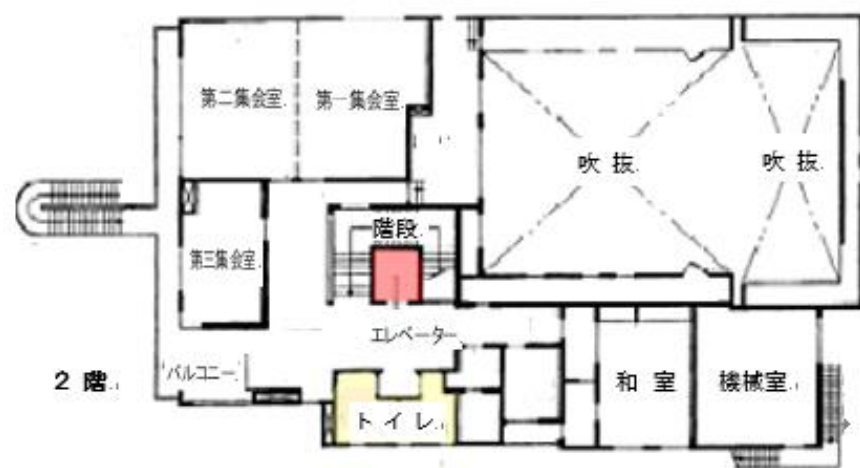
施設構成:浜田山会館(894.53㎡)
ケア24浜田山(95.25㎡)

【写真（ホール、第2集会室、和室）】



浜田山会館の概要

【平面図】



○稼働率(上段:令和元年度(2019年度) 下段:令和4年度(2022年度))

部屋名	施設全体	9~12時	13~15時	16~18時	19~21時
集会室等	52.8%	59.5%	60.6%	57.4%	40.5%
ホール		38.3%	48.3% (13~17時)		45.8% (18~21時)

(参考)
区民会館全体:
54.2%

部屋名	施設全体	9~12時	13~15時	16~18時	19~21時
集会室等	55.6%	61.3%	56.8%	57.5%	45.6%
ホール		51.7%	56.9% (13~17時)		62.5% (18~21時)

(参考)
区民会館全体:
54.8%

地域包括支援センター(ケア24)とは

地域包括支援センター(ケア24) = 高齢者等の**総合相談窓口**

※保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等の保健・福祉の専門職が、相談対応しています。

01 地域包括支援センター(ケア24)の主な業務

総合相談・権利擁護

- 高齢者又はご家族からの相談対応
(介護や認知症のこと等)
- 高齢者虐待への対応
成年後見制度の活用促進等
- プライバシーに配慮した相談支援

ケアプラン作成

介護保険の認定(要支援1・2)を受けた方のサービス計画を作成

地域づくり

高齢者が安心して暮らし続けられる地域となるよう、様々な機関と連携・協働による取組を推進

地域のケアマネジャーの支援

地域のケアマネジャーからの相談対応・支援

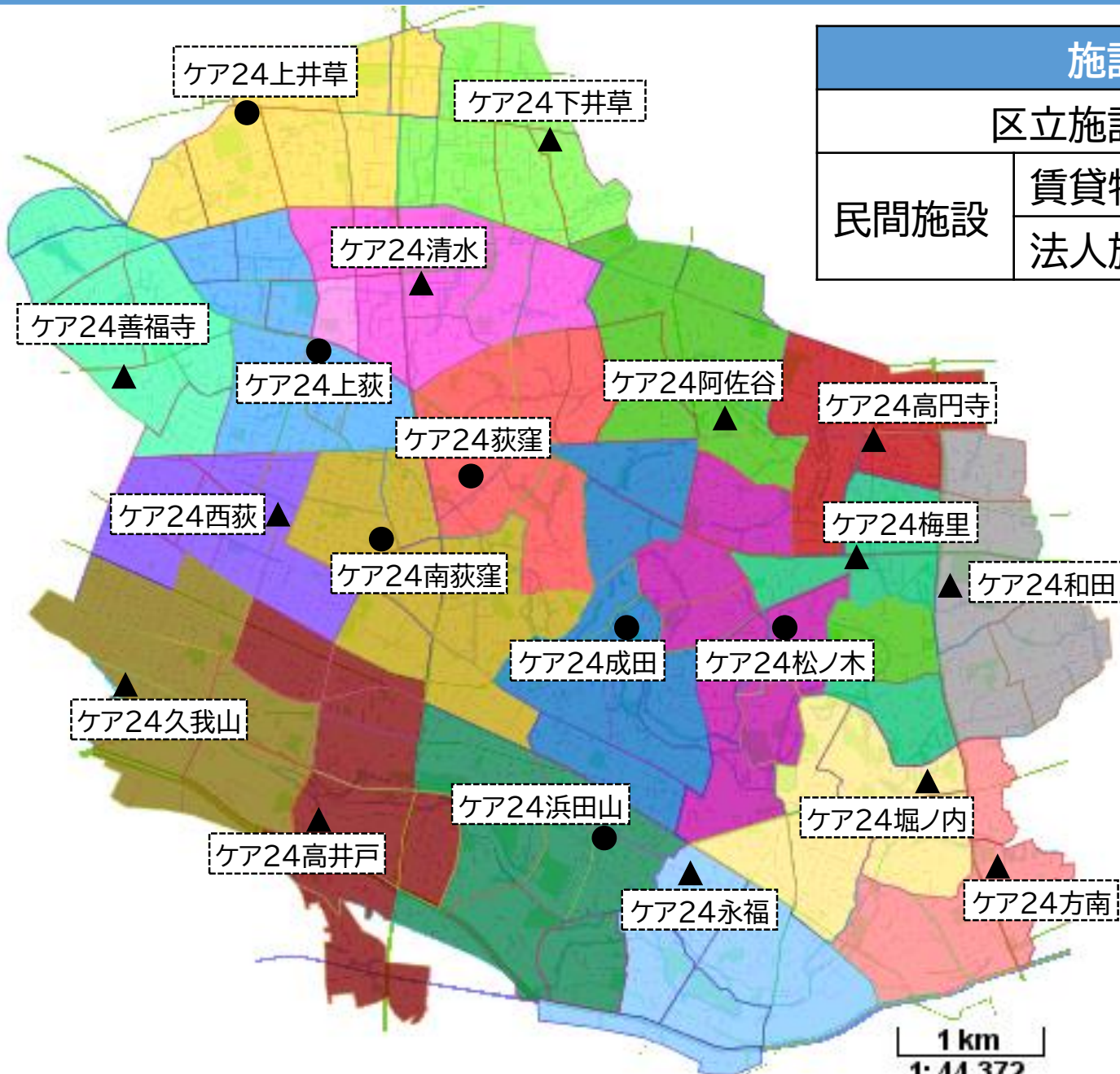
02 区内の設置状況

- 区内20か所に設置
※おおよそ高齢者人口5,000人から7,500人の区域を担当
- 職員数:各所7人程度
- 受付時間:平日9時~19時
土 9時~13時
※いずれも祝日は除く
※電話相談は24時間受付

03 主な利用者層

- 高齢者及び家族
- 地域の高齢者の様子が気になった方
- ケアマネジャー
- 地域づくり関係者・団体

ケア24(全体配置図)



施設内訳		
区立施設		7所
民間施設	賃貸物件	6所
	法人施設併設	7所

- …区立施設
- ▲…民間施設

1 km
1: 44,372

地域包括支援センター（ケア24）浜田山の概要

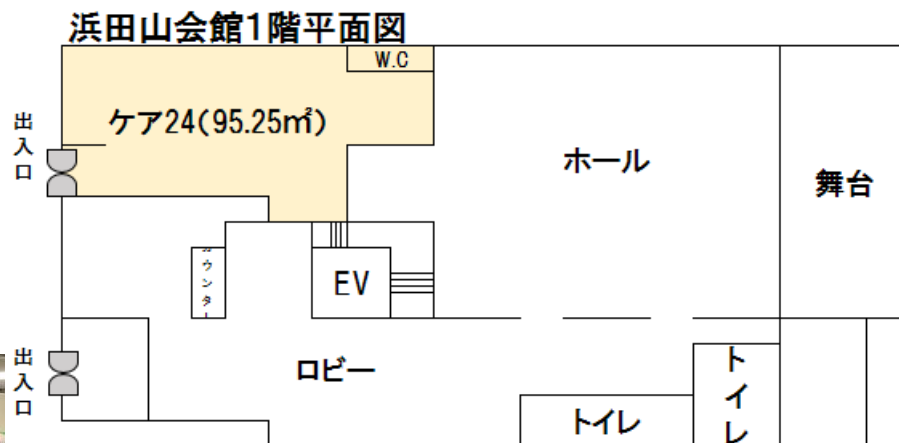
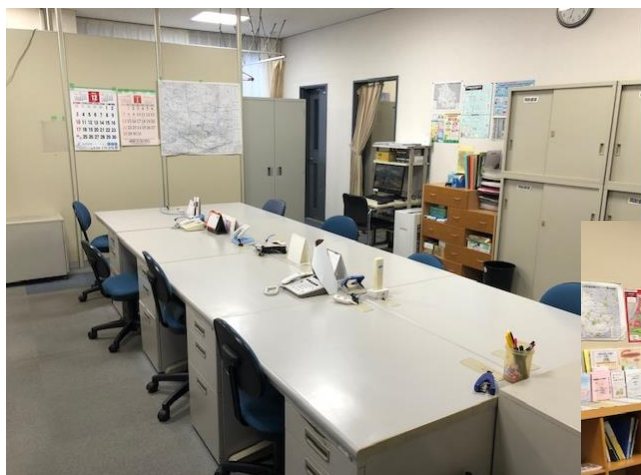
04 担当区域の状況

- 浜田山1丁目・2丁目・3丁目
- 下高井戸4丁目・5丁目
- 高井戸東1丁目・3丁目
- 上高井戸3丁目

※区域内人口(令和6年4月1日時点)
→32,813人(内、高齢者人口7,527人)

05 地域包括支援センター（ケア24）浜田山 施設情報

現況 浜田山会館(築31年)1階に設置
(使用面積…95.25㎡)



旧保育室浜田山東について

- 昭和37年に高井戸青年館として開設。その後は、地域の方等にご利用いただける集会スペースとして貸出しを行っていました。
- 平成26年4月からは、待機児童の解消に向けた緊急対策のため、「保育室浜田山東」として運営していましたが、地域の待機児童解消に一定の目途が立ったことから、令和2年3月に廃止となりました。
- 令和2年12月から令和5年9月までは、新型コロナウイルスに関する事業のために活用していましたが、現在は未活用の施設となっています。

〈施設概要〉

所在地:浜田山4-15-12

建築年度:昭和37年度(1962年度)

敷地面積:1043.51㎡

延床面積:341.26㎡



全体質疑

地域の状況について

地域の状況(人口) ※令和6年(2024年)3月1日時点

町丁目	合計	順位	割合
方南	13,394	23	2.3%
和泉	28,227	2	4.9%
下高井戸	19,978	7	3.5%
永福	15,709	19	2.7%
浜田山	16,845	16	2.9%
和田	19,838	8	3.5%
堀ノ内	18,890	12	3.3%
松ノ木	7,681	35	1.3%
大宮	3,503	36	0.6%
梅里	8,268	34	1.4%
高円寺南	31,777	1	5.5%
高円寺北	16,214	17	2.8%
阿佐谷南	19,185	10	3.4%
阿佐谷北	24,345	4	4.3%
天沼	15,457	20	2.7%
本天沼	11,516	28	2.0%
成田西	9,057	32	1.6%
成田東	23,224	5	4.1%
荻窪	25,609	3	4.5%
南荻窪	14,314	21	2.5%
上荻	13,672	22	2.4%
西荻南	11,840	26	2.1%
西荻北	17,191	15	3.0%
今川	9,567	31	1.7%
清水	8,717	33	1.5%
桃井	11,741	27	2.1%
井草	17,284	14	3.0%
下井草	18,269	13	3.2%
上井草	15,773	18	2.8%
善福寺	12,186	25	2.1%
松庵	10,771	30	1.9%
宮前	19,111	11	3.3%
久我山	20,181	6	3.5%
高井戸東	19,811	9	3.5%
高井戸西	11,330	29	2.0%
上高井戸	12,202	24	2.1%
合計	572,677	／	100.0%

年少人口	順位	割合
1,380	24	10.3%
2,826	2	10.0%
1,816	15	9.1%
1,627	17	10.4%
1,850	14	11.0%
2,066	11	10.4%
1,906	13	10.1%
893	34	11.6%
318	36	9.1%
606	35	7.3%
2,194	7	6.9%
1,170	30	7.2%
1,502	19	7.8%
2,245	6	9.2%
1,421	22	9.2%
1,426	21	12.4%
1,222	27	13.5%
2,779	3	12.0%
3,019	1	11.8%
1,680	16	11.7%
1,291	26	9.4%
1,069	32	9.0%
1,501	20	8.7%
1,309	25	13.7%
1,002	33	11.5%
1,410	23	12.0%
2,084	10	12.1%
2,098	9	11.5%
1,990	12	12.6%
1,505	18	12.4%
1,101	31	10.2%
2,393	5	12.5%
2,101	8	10.4%
2,433	4	12.3%
1,215	28	10.7%
1,212	29	9.9%
59,660	／	10.4%

生産年齢人口	順位	割合
9,539	23	71.2%
19,951	2	70.7%
13,849	7	69.3%
10,664	19	67.9%
11,114	17	66.0%
13,786	8	69.5%
12,979	10	68.7%
5,218	35	67.9%
2,323	36	66.3%
5,903	32	71.4%
24,118	1	75.9%
12,204	14	75.3%
13,970	6	72.8%
16,875	4	69.3%
10,944	18	70.8%
7,524	28	65.3%
5,828	33	64.3%
15,341	5	66.1%
17,226	3	67.3%
9,584	22	67.0%
9,595	21	70.2%
8,423	25	71.1%
11,914	15	69.3%
6,183	31	64.6%
5,796	34	66.5%
7,747	27	66.0%
11,800	16	68.3%
12,332	13	67.5%
10,492	20	66.5%
7,825	26	64.2%
7,428	29	69.0%
12,655	12	66.2%
13,154	9	65.2%
12,833	11	64.8%
6,611	30	58.3%
8,853	24	72.6%
392,581	／	68.6%

高齢人口	順位	割合
2,475	27	18.5%
5,450	2	19.3%
4,313	8	21.6%
3,418	17	21.8%
3,881	12	23.0%
3,986	11	20.1%
4,005	10	21.2%
1,570	35	20.4%
862	36	24.6%
1,759	34	21.3%
5,465	1	17.2%
2,840	23	17.5%
3,713	15	19.4%
5,225	4	21.5%
3,092	20	20.0%
2,566	26	22.3%
2,007	32	22.2%
5,104	5	22.0%
5,364	3	20.9%
3,050	21	21.3%
2,786	24	20.4%
2,348	28	19.8%
3,776	14	22.0%
2,075	31	21.7%
1,919	33	22.0%
2,584	25	22.0%
3,400	18	19.7%
3,839	13	21.0%
3,291	19	20.9%
2,856	22	23.4%
2,242	29	20.8%
4,063	9	21.3%
4,926	6	24.4%
4,545	7	22.9%
3,504	16	30.9%
2,137	30	17.5%
120,436	／	21.0%

地域の状況(地域にある施設等)



グループワーク②

対象施設について気になった点等を
グループ内で意見交換しましょう！

(30分)

事務連絡

○アンケートの提出について

【インターネット】5月7日(火)までに入力

【紙】本ワークショップの最後に回収

○次回のワークショップについて

【日時】令和6年5月24日(金) 午後6時から

【会場】浜田山会館 ホール

【内容】施設を取り巻く状況や建て替え時に
生じる課題について

○施設見学の行程について(別紙参照)